

# 鳥取縣公報

第八一九十八號

昭和十三年二月一日

火曜日

## 告示

○鳥取縣告示第五十七號

縣立各學校ニ於テ昭和十三年四月入學セシムベキ生徒ヲ募集ス其ノ要項左ノ如シ詳細ハ夫々其ノ校ニツキ承合スベシ

昭和十三年二月一日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

學 校 名	募 集 人 員	願書受付期限	考 查 期 日	考 查 場 所
鳥取縣師範學校	本科第一部約四十名 (內約十三名公費生)	自 二月 一 日 至 二 月 十 五 日	自 二 月 二 十 一 日 至 二 月 二 十 九 日	本 校
	本科第二部約四十名 (內約十三名公費生)	自 三 月 一 日 至 三 月 十 五 日	自 二 月 二 十 一 日 至 二 月 二 十 九 日	米子市啓成小學校
	專攻科約四十名	自 二 月 二 十 八 日 至 二 月 二 十 八 日	自 三 月 三 十 二 日 至 三 月 三 十 二 日	本 校

鳥取縣女子師範學校	本科第一部約三十名 (內約十名公費生) 本科第二部約三十名 (內約十名公費生) 專攻科約二十名	自二月一日 至二月二十日	自二月二十六日 至三月一七日	米子高等女學校
鳥取第一中學校	約 二〇〇名	自二月二十日 至三月十二日	自三月二十二日 至三月三十日	本校
鳥取第二中學校	約 一〇〇名	自三月十二日 至三月二十日	自三月二十二日 至三月三十日	本校
米子中學校	約 二〇〇名	自三月二十日 至三月二十八日	自三月三十日 至三月三十一日	本校
倉吉中學校	約 一五〇名	自三月二十八日 至三月三十一日	自三月三十一日 至三月三十一日	本校
鳥取高等女學校	約 二〇〇名	自三月三十一日 至三月三十一日	自三月三十一日 至三月三十一日	本校
米子高等女學校	約 二〇〇名	自三月三十一日 至三月三十一日	自三月三十一日 至三月三十一日	本校
倉吉高等女學校	約 一五〇名	自三月三十一日 至三月三十一日	自三月三十一日 至三月三十一日	本校
八頭高等女學校	約 一〇〇名	自三月三十一日 至三月三十一日	自三月三十一日 至三月三十一日	本校

根雨高等女學校	約 五〇名	自二月十九日 至三月九日	自三月二十二日 至三月三十一日	本校
倉吉農學校	約 一〇〇名	自三月九日 至三月十九日	自三月二十二日 至三月三十一日	本校、鳥取市
日野農林學校	約 五〇名	自三月十九日 至三月二十九日	自三月二十二日 至三月三十一日	本校、鳥取市
米子工業學校	機械電氣科約五〇名 應用化學科約三〇名	自三月二十九日 至三月三十一日	自三月二十二日 至三月三十一日	本校、鳥取市
鳥取商業學校	約 一〇〇名	自三月三十一日 至三月三十一日	自三月二十二日 至三月三十一日	本校
米子商蠶學校	商業科 約五十名 蠶業科 約五十名	自三月三十一日 至三月三十一日	自三月二十二日 至三月三十一日	本校

備考 學校ニツキ承合ノ場合ハ返信料添付ヲ要ス

◆鳥取縣告示第五十八號

森林法ニ依リ左記箇所ノ保安林解除申請ヲ受理シタリ

昭和十三年二月一日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

郡	町	大字	字	地番	地目	全 面積	台帳 見込	面積	麥 除積	所有者	申請者
東伯赤碕	赤碕	八幡山	二〇 ノ二二	保安林	一反 八〇	一反 八〇	一反 八〇	一反 八〇	一 余	郷社天乃神 天乃神 奈斐神社	郷社天乃神 奈斐神社
同	同	同	同	同	五二四	五二四	五二四	五二四	同	同	同

鳥取縣告示第五十九號

昭和六年九月鳥取縣告示第三百二十九號鳥取縣農業水利改良事業出張所設置規程中左ノ通改正ス

昭和十三年二月一日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

第二條中左ノ項ヲ追加ス

同上 大井手出張所

氣高郡大正村大字古海

河原町	國中村
大和村	美穗村
大正村	千代水村
松保村	湖山村
鳥取市	

鳥取縣告示第六十號

氣高郡湖山村第二耕地整理組合換地處分變更ノ件認可セリ

昭和十三年二月一日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

鳥取縣告示第六十一號

岩美郡成器村第二耕地整理組合設計書變更ノ件認可セリ

昭和十三年二月一日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

鳥取縣告示第六十二號

森林法ニ依リ左記箇新ヲ保安林ニ編セムトス

昭和十三年二月一日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

字	地番	地目	全 面積	要 編入	台帳 實測	實測 面積	所 有 者
---	----	----	---------	---------	----------	----------	-------------

岩美郡蒲生村大字洗井



00579

鳥取縣告示第六十三號

昭和十三年一月產婆名簿登錄事項ノ訂正セシ者左ノ如シ

昭和十三年二月一日

鳥取縣知事

立 田

清 辰

住 所

鳥取縣米子市樫町二丁目四六番地

昭和十二年十月二十五日前住所並開業地

鳥取縣東伯郡上中山村大字退休寺五番地

ヨリ轉住ノ故ヲ以テ同年十月二十八日付

產婆名簿登錄事項訂正方出願ニ對シ昭和

十三年一月十三日訂正

大 島

阿 妻

鳥取縣告示第六十四號

西伯郡和田村消防組ノ組織ヲ變更シ組員數左ノ通定ム

昭和十三年二月一日

鳥取縣知事

立 田

清 辰

00580

彙 報

組 員 數

組 頭	副 組 頭	小 頭	消 防 手
一	一	一	三〇

本縣蠶業試驗場發表ノ桑樹發芽期ノ豫察ニ就テ

一 緒 言

桑樹冬芽ノ發芽生長ニ關係ヲ有スル外的條件ハ栽培地ニ於ケル氣象狀態ニシテ就中二月以降發芽ニ至ル迄ノ平均氣溫ノ高低ハ最モ密接ナル關係ヲ有スルモノナリ。サレバ此ノ兩者間ニ存在スル關係ヲ調査スレバ當年ノ發芽開葉期ヲ豫察シ得ル。桑蠶ノ掃立期ハ決定スルニ當リ頗ル好材料ナルベシ。故ニ本場ニ於テハ昭和八年ヨリ同十二年ニ至ル五ケ年間ノ早生桑(市平)ノ冬芽ノ發芽期ト氣溫調査トヲ經緯トシテ兩者間ノ關係式ヲ求メ之ニヨル發芽期ノ豫察ト實際ノ發芽期トヲ對照セルニ概ネ適確ナル成績ヲ得タルヲ以テ、茲ニソノ概要ヲ記載シ關係者ノ參考ニ資セントス。

二 豫 察 ノ 方 法

氣溫ト發芽期トヲ直線的ノ關係ニアリトスレバ此ノ關係ハ

$Y = a + bx$

ナル式ニテ表シ得ルヲ以テ、コノ式ヲ豫察ノ手段ニ適用セリ、茲ニYハ三月一日ヨリ起算セル各  
 發芽期迄ノ日數、Xヲ平均溫度(攝氏)トシテa bノ係數ヲ決定スレバ次表ノ如キ式ヲ得

關係氣溫期間	發芽期	脫苞期	燕口期	第五開葉期
二月中ノ平均氣溫		$y = 57.4 - 5.21x$	$y = 58.2 - 2.69x$	$y = 62.3 - 1.6x$
自三月一日平均氣溫 至三月十日		$y = 52.9 - 3.62x$	$y = 62.0 - 3.1x$	$y = 60.7 - 0.96x$
自二月一日平均氣溫 至三月十日		$y = 63.0 - 4.77x$	$y = 64.0 - 2.78x$	$y = 64.3 - 1.51x$
自三月一日平均氣溫 至三月十日		$y = 60.25 - 3.71x$	$y = 66.0 - 2.52x$	$y = 64.1 - 1.17x$

三 發芽期ノ豫察ト實際トノ比較

本場構内見本桑園ニ栽植セル市平(根刈拳式仕立)ノ各年ニ於ケル發芽狀況次ノ如シ

年次	發芽期	脫苞期	燕口期	第五開葉期	備考
昭和八年	四月七日(三八日)	四月十六日(四七日)	四月二十五日(五六日)		
同九年	四月九日(四〇日)	四月十八日(四九日)	四月二十五日(五六日)		
同十年	三月二十四日(二四日)	四月九日(四〇日)	四月二十二日(五三日)		
同十一年	四月十日(四一日)	四月二十二日(五三日)	四月二十八日(五九日)		閏年
同十二年	三月二十六日(二六日)	四月十五日(四六日)	四月二十二日(五三日)		閏年

備考 括内ハ三月一日ヨリ起算セル發芽期迄ノ日數ヲ示ス  
 本場ニ於テ調査セル二月一日以降二月二十日迄ノ各期間別平均氣溫(攝氏)ハ次ノ如シ

年次	項目	二月中ノ平均氣溫	自二月一日平均氣溫 至三月十日	自二月一日平均氣溫 至三月十日	自三月一日平均氣溫 至三月十日	備考
昭和八年		四、三〇度	四、六〇度	五、二三度	六、一七度	
同九年		三、八三	三、八一	五、一四	六、四五	
同十年		六、二六	七、五八	八、二五	一〇、二五	
同十一年		二、九三	二、六四	四、〇五	五、一七	閏年
同十二年		六、三三	七、七九	七、四四	八、五五	

備考 温度ハ毎日午前十時ニ観測セリ  
右氣温調査ノ成績ヲ前記ノ關係式ニ適用シ算出セル各發芽期ト實際ノ發芽期トヲ對照スレバ次ノ如シ

(一) 二月中ノ平均氣温ニヨル發芽期ノ豫察ト實際

年次	項目	脱苞期		燕口期		第五開葉期		備考
		計算日數	實際日數	計算日數	實際日數	計算日數	實際日數	
昭和八年		三五	三八	四七	四七	五六	五六	備考 (1)日數ハ總テ三月一日ヨリ起算セリ、小數點以下ハ四捨五入トス以下之ニ做フ
同 九年		三八	四〇	四八	四九	五七	五六	
同 十年		二四	二四	四一	四〇	五三	五三	
同 十一年		四二	四一	五〇	五三	五八	五九	
同 十二年		二五	二六	四一	四六	五三	五三	
平均	日差ノ絶對值ノ均	1	1	1	1	1	1	
		1	1	1	1	1	1	
		1	1	1	1	1	1	
		1	1	1	1	1	1	
		1	1	1	1	1	1	

(2) 日差ノ(-)ハ實際ノ發芽ガ計算日數ヨリ遅レタルコトヲ(+)  
ハ早キコトヲ示ス  
(三) 自二月一日至三月十日ノ平均氣温ニ依ル各發芽期ノ豫察ト實際

年次	項目	脱苞期		燕口期		第五開葉期		備考
		計算日數	實際日數	計算日數	實際日數	計算日數	實際日數	
昭和八年		三六	三八	四八	四七	五六	五六	備考
同 九年		三九	四〇	五〇	四九	五七	五六	
同 十年		二六	二四	三九	四〇	五四	五三	
同 十一年		四三	四一	五四	五三	五八	五九	
同 十二年		二五	二六	三八	四六	五三	五三	
平均	日差ノ絶對值ノ均	1	1	1	1	1	1	
		1	1	1	1	1	1	
		1	1	1	1	1	1	
		1	1	1	1	1	1	
		1	1	1	1	1	1	

(三) 自二月一日至三月二十日ノ平均氣温ニヨル各發芽期ノ豫察ト實際

年次	項目	脱苞期	燕口期	第五開葉期	差備
	計算日數	1	1	1	
	實際日數	1	1	1	
	差	1	1	1	
	計算日數	1	1	1	
	實際日數	1	1	1	
	差	1	1	1	

年次	項目	脱苞期		燕口期		第五開葉期		備考
		計算日數	實際日數	計算日數	實際日數	計算日數	實際日數	
昭和八年		三八日	三八日	四七日	四七日	五七日	五七日	
同 九年		三九日	四〇日	四九日	四九日	五七日	五六日	
同 十年		二四日	二四日	四〇日	四〇日	五三日	五三日	
同 十一年		四三日	四一日	五三日	五三日	五九日	五九日	閏年
同 十二年		二八日	二六日	四三日	四六日	五三日	五三日	
(四) 自二月一日至三月二十日		平均氣溫ニヨル各發芽期ノ豫察ト實際		平均氣溫ニヨル各發芽期ノ豫察ト實際		平均氣溫ニヨル各發芽期ノ豫察ト實際		
日差ノ絶對值ノ均		1	1	1	1	1	1	

平均ノ絶對值ノ均	1	1	1	1	1	1	1
----------	---	---	---	---	---	---	---

四、要約並考察

(1) 以上ノ成績ニ依リ桑樹ノ發芽期ヲ豫察スルニ實際的ノ方法トシテハ、二回ニ分チ行フヲ便トス即チ第一回ハ三月初頭ニ於テ二月中ノ平均氣溫ヲ適用シ、其ノ年ノ發芽期ノ大体ノ豫察ヲナシ更ニ第二回ハ三月下旬ニ於テ自二月一日至三月二十日ノ平均氣溫ヲ適用スレバ第一回ノ豫察ヲ補正シ更ニ殆ンド實際ト合致スル豫察ヲナスコトヲ得ベシ。

(2) 此ノ方法ニ依リ發芽期ノ豫察ヲナスニ當リテハ關係式ノ係數 a bハ桑ノ品種仕立法、栽培地域等ニヨリ相違スルモノナルヲ以テ注意ヲ要ス。

(3) 春蠶掃立ノ適期ハ早生桑ノ第五開葉期ヲ目標トナセ共實際ハ之ヨリ數日遅キヲ普通トス。

行旅死亡人

- 一 氏名 小林定三
- 一 年齢 六十三歳
- 一 籍貫 大阪府泉南郡麻生村大字新堀(照會セシモ心當リナントノ回答ニ接ス)
- 一 職業 書工



00587

一 住 所 不 詳

一 死亡日時場所 昭和十二年十二月廿九日午前十一時

奈良縣高市郡畝傍町大字見瀬

安宿 大澤宗太郎方

一 相 貌 身長五尺六寸、顔長、鼻高シ、色淺黒キ方、前上齒ナシ、頭髮白髮、

特徴前頭薄禿

一 着衣及所持品 瓦斯縱縞裕重、瓦斯縱縞羽織、黒羅紗トンビ、鼠色中折帽子、現金拾七

圓八拾壹錢壹厘外ニ衣類書具印鑑其ノ他三十四點

一 取扱ヒタル年月日 昭和十二年十二月廿九日午後六時本町ニ於テ假埋葬ス

右心當リノ向ハ奈良縣高市郡畝傍町長へ直接照會相成度

00588

二月二日發行「週報」掲載内容左ノ通

週報第六十八號掲載内容

一 軍 旗 の 話 (陸 軍 省 新 聞 班)

一 事變下の本年度豫算 (大 藏 省)

一 寒風を衝き宣昌を襲ふ (海軍省海軍軍事普及部)

——(國際時事解説)——

一 青 島 を 語 る (外 務 省 情 報 部)

### 正 誤

昭和十三年一月十八日發行鳥取縣公報第八百九十四號登載鳥取縣告示第二十八號左記中十一行目  
四段「鉄火田」ハ「鉄穴田」ノ誤植ニ付訂正ス